

国民大運動行動報告

第025号
2019年
3月22日

「軍事費を削って、暮らしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～第198 通常国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催 3・20 定例国会行動～

連続する選挙勝利で安倍政権退陣！



3月20日、三者共催による今国会第4回目の定例国会行動が、新婦人中央本部の河村玲子中央常任委員の司会の下、衆議員第2議員会館前で行われ、250人が参加しました。行動に寄せられた90,118人分の消費税増税中止、社会保障の拡充などの署名は、新婦人中央本部の米山淳子副会長により赤嶺政賢衆議院議員に託されました。

現在、2019年度予算案は参議院で大詰めを迎え、22日には一般質疑、25日に集中審議が行われることが決定しており、26日にも採決かとの一部報道も流れていますが、野党は一致してさらなる集中審議を求めていく構えです。

また、いよいよ21日から統一地方選も始まりますが、参加者は、市民と野党の共闘で改憲を許さず、暴走を続ける安倍政権を退陣に追い込む決意を固めました。

当日は、東京土建、全商連、全生連、埼玉デーなどの取り組みとともに、10%ストップ！ネットによる署名提出集会も取り组まれました。

市民と野党の「本気の共闘」で安倍政権を退陣させ、悪政を一掃させよう！



主催者を代表して挨拶を行った**農民連の吉川利明事務局長**は、消費税増税、国保料の値上げ、辺野古新基地建設の強行や若者を戦場に送り出す9条改憲など「ウソとごまかし、隠ぺい・ねつ造の安倍政権の大破たんがいよいよ明らかになった」と強調。農業分野でも昨年末のTPP11により牛肉の輸入量が急増したがセーフガードが発動されないとし、さらに「政府が『TAG』と強弁する日米FTAは国民の暮らしの根底に関わる大問題であり、亡国の農政だ」と強く批

判。「連続する選挙で勝利し、安倍政権を退陣させ悪政のすべてを一掃させよう」とよびかけた。

普天間に移設条件を付けるな！辺野古の工事をストップせよ！



国会報告を行った**日本共産党の赤嶺政賢衆議院議員**は、国会論戦のなかで破たんが明らかになった消費税増税や自衛官募集の自治体への協力強要など「今度の選挙で安倍政権に審判を下し、憲法審査会の開催を許さず全力でたたかう」と表明。また、県知事選勝利と県民投票の圧倒的民意の審判に続き、軟弱地盤を認め設計変更の政府答弁を引き出したことをあげ、「普天間に移設条件を付けるな、辺野古の工事をストップせよ、のたたかいを国民的に盛り上げて安倍内閣を倒し、普天間返還、辺野古ストップを勝ち取ろう」とよびかけた。

高額兵器の爆買いをしている
場合ではありません。
軍事費を削って、私たちの
くらし、福祉、教育にこそ
まわしてほしい、の声を
集めました。今度の選挙で
も奮闘します。



国保の改善要求を選挙の大きな争点に押し上げよう！



全日本民医連の山本淑子事務局次長は、経済的な困難から国保料を滞納せざるを得ず無保険状態になり、受診できずに手遅れとなりいのちを落とす痛ましい事例が後を絶たないとし、2018年分の手遅れ死亡事例調査について記者発表したことを報告。安倍政権の推し進める「全世代型社会保障改革」はこうした状況を一層悪化させるものと批判し、「国保への公費投入、子ども均等割の廃止、市町村の一般会計からの繰り入れ継続など、国保の改善要求を選挙の大きな争点にあげ、手遅れ死亡をなくすために奮闘する」と決意を述べた。

兵器の爆買いをやめて社会保障にまわせ！



日本医労連の三浦宜子中央副執行委員長は、患者さんや働く者のいのちと尊厳が守られる社会保障制度こそ求められているとし、「医師の働き方改革に関する検討会」に出された報告案は、特例として年1,860時間、月に換算すると155時間、過労死ラインの2倍もの時間外労働を認めるものだと強く批判。医療費抑制のための絶対的な医師不足が、現在の過酷な医師の働き方の根本原因だと指摘し、「私たちの働き方は、患者さんのいのちと安全と表裏一体。『兵器の爆買いをやめ社会保障にまわせ』の声大きくあげていく」と決意を語った。

全国から新基地 NO!の大きな波を起こしていこう!



安保破棄中実委の東森英男事務局長は、16日の那覇での沖縄県民大会で1万人が掲げた『民意は示された!』のプラカードを紹介。県民投票を恐れた安倍政権が自民党議員を使って働きかけた5市の投票不参加や県民投票無効論を打ち破り、全市町村で反対が多数を占めたことを報告。軟弱地盤の存在を認めたにもかかわらず、工事終了までの期間も予算も示せないことを批判し、「私たちが考える以上に政府は行き詰まっている」とし、「沖縄との連帯を強め、全国から『新基地 NO!』の大きな波を起こそう」とよびかけた。

私物化政治を改めない政権に早期退陣を求めよう!

国民大運動の渡辺正道事務局長は、予算審議は25日の週に山場を迎えるが、その直後の憲法審査会での審議強行しようとする動きを許さないためにも、改めて3,000万人署名の達成と市民と野党の共闘の力でくい止めよう、とよびかけた。そして「今後国会での悪法阻止、実効ある法改正のたたかい、消費税10%中止、地方選挙の前進、さらに野党共闘候補の擁立に向けて、国会内外でのたたかいをつよめていこう」とよびかけ、行動提起を行った。



おしまいに、国公労連の中本邦彦中央執行委員による音頭で、国会に向けて「消費税増税は中止しろ!」などと参加者全員で声を大きく響かせた。

第198通常国会(6/26閉会予定)今後の定例国会行動の予定

12:15 ~ 13:00

衆議院第2議員会館前

隔週の水曜日

4月3日、4月17日、5月15日、5月29日、6月12日

とりくみの日程(3月22日~4月3日)

3月25日(月) 18:30 ~ 日本教育会館8F 第一会議室

土砂投入は中止! 辺野古新基地建設は断念せよ! 3・25集会

共催: 「止めよう! 辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会/総がかり行動実行委員会

4月1日(月) 12時~13時 新宿駅西口

「まだ止められる」消費税施行30年宣伝

主催: 10月消費税10%ストップ! ネットワーク